

○四日市市長コメント

国土交通省が四日市港霞ヶ浦地区に係る事業化検証調査費（直轄：1億円）を予算化していただいたことは、大変喜ばしく思います。

昨年5月の「四日市港の将来を考えるフォーラム」では、関係国会議員をはじめ、多くの皆様から力強いご声援をいただきました。また、港湾を利用される民間事業者の皆様からは、機能強化を熱望するお声をいただいたところであり、今後の新規事業化に向け大変心強く感じているところです。

昨年9月、四日市商工会議所や港湾利用者などで構成された「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会」が設立され、四日市市においても「進める会」と一体となって、災害時にも強い四日市港の機能強化を目指し、地元自治体として必要性を強く国に伝えてまいりました。

このような取組が、今回の予算化につながったものと感じております。ご支援、ご協力をいただきました皆様には大変感謝申し上げます。

今後も四日市港が地域の暮らしを守り、背後圏産業の発展を支えていくために、新たな耐震強化岸壁が新規事業化されることを官民一体となって全力で取り組んでまいります。

令和2年3月31日 四日市市長 森 智広